

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年9月15日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年9月15日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【増設多核種除去設備(C)点検中の弁フランジからの漏えいについて】 当直員が増設多核種除去設備(C)「クロスフローフィルタCスキッド2漏えい」の警報発生を確認。 現場確認の結果、水たまりがあり、点検のため弁を取外して開放されていた弁取合いフランジ部から、増設多核種除去設備(B)側から流れ込んできた、増設多核種除去設備(B)起動準備用ろ過水が漏えいしたものと判明。 漏えい拡大防止処置として、弁に閉止フランジを取付済み。 水は堰内に留まっていたことから環境への影響がないことを確認。 今後、原因調査ならびに再発防止対策を検討。</p>	G II	9月13日